

飯舘村で50年。これからも 飯舘村で…
あせのあしあと 時の記録 心の躍進



50 years of IITATE
飯舘村
50
年

ここで 生きます 心おこして

これからの50年

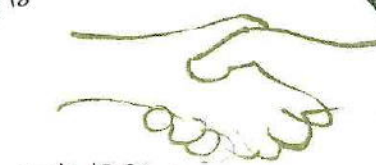


いいたてむら

飯舘村立村50周年記念要覧

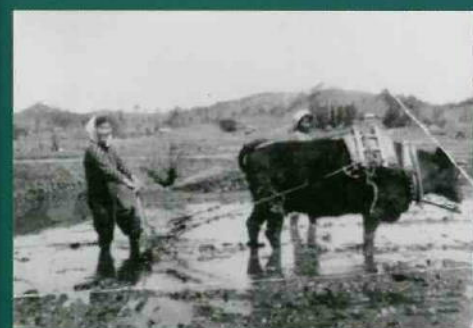
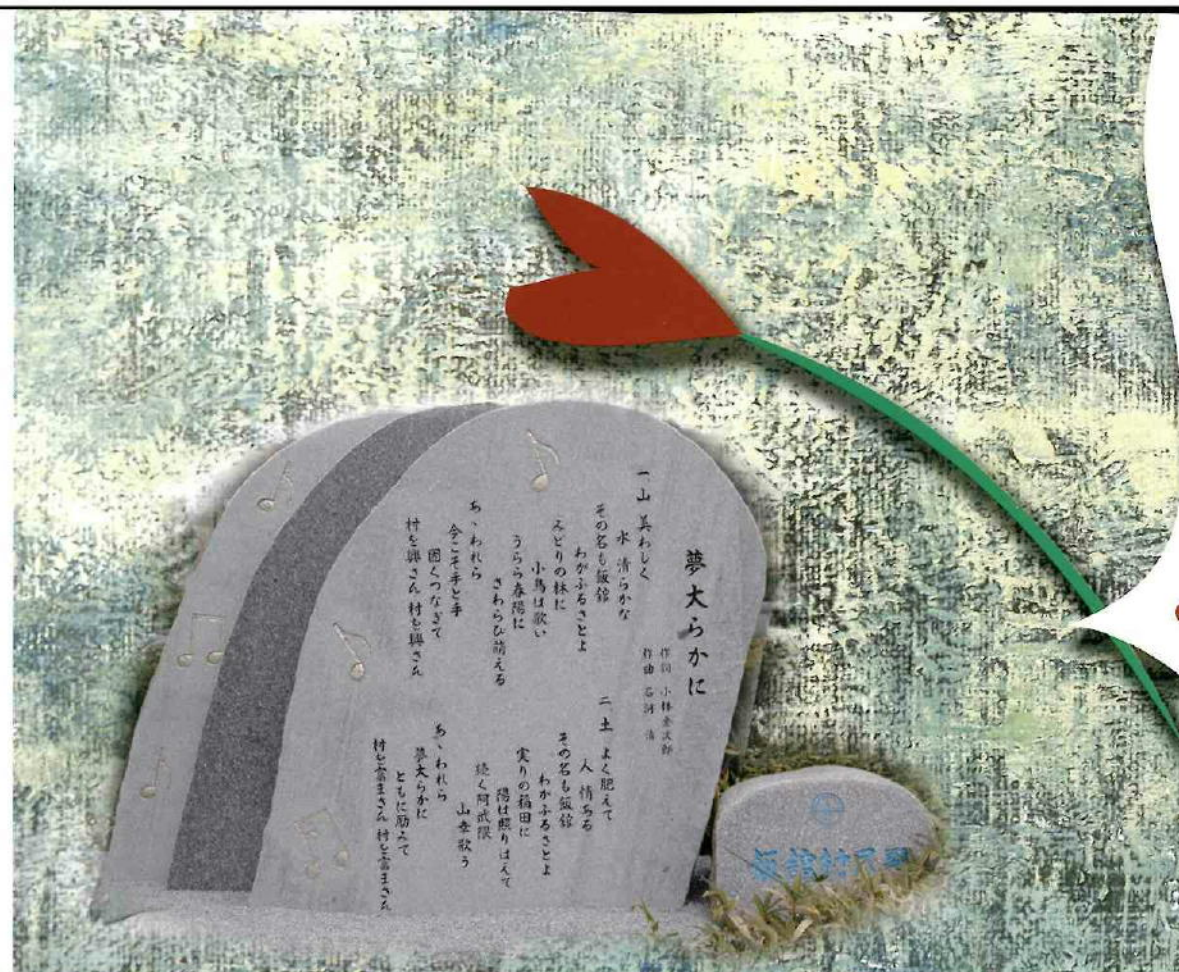
まじいの風を

今こそ手と手
固くつなげて 村を興さん



ともに励みて 村を富まん

Maday Life litate



50年の歴史	3
笑顔×50人	10
飯舘村50景	14
施策の概要	
第5次総合振興計画	20
教育	22
くらし	23
保健福祉	24
地域産業	25
輝く20行政区	26
誌上対談	28
数字に見るいいたち	30
50年間の10大ニュース	31

時をひもとく 飯舘村50年の歴史

飯曾・大館の2村が合併し、飯館村が誕生したのは昭和31年。日本ではテレビ放送が始まっており、国産初のテレビが売り出され、このどかな山里にも新しい風が吹き始めた頃。昭和40年代に入ると、農業電話が開通し、村内の通信が飛躍的に便利になった。高度経済成長の希望に満ちた日本列島は昭和48年、オイルショック。

昭和31年～昭和40年 1956年～1965年

昭和31年 1956年

飯曾・大館2村が合併し飯館村が発足、今野隆造氏を村長職務代理者として飯館村がスタート
飯館村消防団発足
旧村議31名で臨時村議会を開催
初の村長選挙で高橋市平氏当選

昭和32年 1957年

松ヶ平ダム反対期成同盟会発足
合併後の18人の農業委員決定
飯曾・大館両選挙区とも11名、計22名の定員で初の村議会を執行

昭和33年 1958年

役場に総務・税務・経済・厚生・土木の5課を設置
草野小・小宮分校が独立し村立小宮小学校となる
松ヶ平ダム建設測量団の来村で闘争激化

昭和34年 1959年

庁舎建設位置決定問題により4名の村議員職のための補欠選挙
赤字解消のための飯館村自主再建計画でできる10ヶ年計画の飯館村建設基本計画、新庁舎建設等を含む新村建設計画(5ヶ年計画)を策定

昭和35年 1960年

高ノ倉鉱山の廃鉱によって小宮小高ノ倉分校を閉校
草野字大師堂に役場新庁舎完成し移転 飯館に支所を設置
村長選挙で高橋市平氏再選

昭和36年 1961年

母子健康センター設置
機構改革で企画・庶務・税務・住民・産業の5課制に
草野大火、120棟消失し罹災世帯46戸、罹災人員244名
福島県臨時罹災対策相談所を開設

昭和37年 1962年

自衛隊、災害地整理に出動
ダンボール・ブルーザー購入を決定
鈴木清重大倉区長と佐藤福島県知事が松ヶ平ダム建設で覚書を交換(住民の同意を得られぬまま、この覚書によってダム問題は事実上凍結)
選挙区を撤廃して村議選を執行

昭和38年 1963年

飯館地区に簡易水道を布設
大館・飯曾両森林組合が合併して飯館村森林組合が発足
スクールバス運行開始、飯館中学校蔵平分校3年生23名が本校へ通学
農繁期の季節保育所を開設
青年研修所・機械化センター完成

昭和39年 1964年

草野小学校八木沢分校、飯館小学校蔵平分校を閉校
広報『いたて』第1号を発行
2方部に分かれて第1回村民体育大会開催
総工費1億9,900万円を岩部ダム完成、落成式挙行政

昭和40年 1965年

飯館小学校比曽分校・同長泥分校が比曽小学校・長泥小学校として各々独立
草野地区に簡易水道を布設
村内行政区が1つになって第2回村民体育大会を開催
前田・月館間に1日4往復の福島交通定期バスが開通
低温長雨によって農作物に5,018万円の被害、天災融資法・激甚災害法の発動を要請
村長選挙で高橋市平氏3選



初代村長 高橋市平氏



旧飯館村役場



旧校場内



旧校場



草野大火



スクールバス運行開始



季節保育所



岩部ダム完成



村民体育大会



役場風景

昭和41年～昭和50年 1966年～1975年

昭和41年 1966年

1966年
学校給食センター完成、完全給食の実施90%に
大館・飯曾両農協が合併し飯館村農協が発足
阿武隈縦断開拓道路開通
農業構造改善事業計画地域の指定を受ける
集中豪雨で幼児1名死亡、125戸浸水、1,483万円の被害を受ける
村章決まる
農業後継者学習の場、青年建設班でできる
飯館村合併10周年記念式典を挙行、村民歌、村民音頭発表
飯館村土地改良区が発足

昭和42年 1967年

完全給食実施100%に
飯館村社会福祉協議会が発足
農業構造改善事業で深谷・松塚164haのほ場整備に着手
飯館村商工会が発足

昭和43年 1968年

草野小学校幼児学級が草野幼稚園として独立
北阿武隈山系開発促進協議会を設置
村長選挙で末永進氏初当選
飯館公民館完成
10ヶ年計画の村勢振興計画でできる

昭和44年 1969年

機構改革で3課7係制へ
飯館小学校幼児学級が飯館幼稚園として独立
晩稲で農作物に1,700万円の被害
山村振興地域の指定を受ける
草野幼稚園の園舎完成

昭和45年 1970年

米の生産調整始まる
全村で農業電話開通(加入率82%)
機構改革で3課2室制へ、企画室・会計室新設
大倉幼稚園開園
福島県から大倉ダムを建設したい旨の申し入れ
降ヒョウで葉たばこなどに7,800万円の被害
大倉ダム反対闘争委員会組織される

昭和46年 1971年

飯館村農協畜産市場完成、初セリ行なわれる
議会・村・地元代表で飯館村草野ダム対策協議会発足
国民年金受給を開始
台風23号で農作物や道路、家などに6,900万円の被害
10ヶ年事業の泉宮ほ場整備事業飯館地区の450haに着工

昭和47年 1972年

相馬地方広域消防発足、飯館分署が活動開始
飯館牧場建設に着手
村長選挙で山田健一氏当選

昭和48年 1973年

簡易水道田所浄水場で給水開始
大倉幼稚園が草野幼稚園に統合
機構の一部を改革、畜産係を設置
老人いこいの家「やすらぎ」オープン

昭和49年 1974年

機構改革で事業課を農政課に分離
福島県が原町合同庁舎に草野ダム建設事務所を設置
飯館村農業振興地域整備計画でできる生活改善センター完成
この年から成人式をお盆に開催
春から低温で水稲に大きな被害
ダム反対闘争委員長総辞職に伴い、大倉に草野ダム対策同盟会結成される

昭和50年 1975年

第1回民俗芸能発表会を開催
第1回新婚夫婦激励会を開催
飯曾・大館両婦人会が一本化して飯館村婦人会ができる
生活再建計画を作るため、知事と草野ダム対策同盟会長とが「ダム建設計画調査立入りに関する協定書」に調印



飯館村合併10周年記念式典



学校給食センター



2代目村長 末永 進氏



農業電話開通



3代目村長 山田健一氏



草野地区の商店



落雷で壊れたカラーテレビ

村は、変わらず自然があふれているが、日本都市部では公害問題が深刻に。この頃を機に、村では農業交流を軸としたグリーンツーリズムがさかんになった。農業者の若い力が評価され、総理大臣賞受賞も。21年来の歳月を費やした真野ダムがついに完成。そして時代は平成へ。平成元年からはじまった「若妻の翼事業」は、農村の古い慣習と女性の意識に大きく一石を投じ、話題に。

昭和51年～昭和60年 1976年～1985年

昭和51年	4月	1976年	一般電話が自動化される
	6月		真野ダム対策同盟会、要求書を県に提出
	7月		過疎振興計画できる
	9月		「村民憲章」「村の木・花・鳥」を制定
	10月		合併20周年記念式典、村民体育大会と併せて実施
	11月		村長選挙で山田健一氏無投票で再選
			7月から異常低温と長雨で農作物に10億8,000万円の被害
昭和52年	3月	1977年	真野ダム建設で一筆協定書に調印
	4月		比留小学校・長泥小学校が飯種小学校に統合
	7月		簡易水道花塚浄水場給水開始
	9月		真野ダム、水没地内の一筆調査を開始
	12月		飯種村総合計画を策定
昭和53年	4月	1978年	水田利用再編対策事業始まる
	9月		小宮小学校廃分校が草野小学校に統合
	12月		大雪で山林に大きな被害
			農業構造改善事業で前田・二枚橋・須置地区のは場整備116ha着手
			阿武隈開発事業（広域農業開発事業）農林水産大臣の認可を受け5ヶ年計画で事業に着手
昭和54年	4月	1979年	小宮小学校が草野小学校に統合
	5月		村民の森「あいの沢」落成、開園式を実施
昭和55年	2月	1980年	飯種村カンボジア難民を救済会が移動病院「いいたて号」を購入、タイ国へ寄贈
	3月		真野ダムに係る水源地域整備計画を決定
	4月		大倉小学校が草野小学校に統合
	10月		飯種酪農青年研究同士の会、若い農業者活動グループコンクールで総理大臣賞受賞
	12月		村長選挙で山田健一氏無投票で3選
昭和56年	3月	1981年	真野ダム建設に伴う補償協定書に調印
	4月		7月から低温と長雨で農作物に大被害、被害額15億2,400万円、米の出荷は0という異常事態
	9月		豪雪で山林などに大被害、交通網も大混乱、被害は14億9,300万円に
昭和57年	4月	1982年	機構改革で管理課・企画室・農政課なくなり、総務課・産業課・保健センターに
	12月		保健センター完成、業務開始
昭和58年	4月	1983年	機構改革で保健課を設置、税務係を住民課に設置
	5月		村民の森「あいの沢」日中友好の森記念植樹祭開催
	10月		ウエディングサークル発足
	11月		第1回村まつり開催
昭和59年	3月	1984年	真野ダム記念碑の除幕式挙行政
	4月		第3次総合振興計画を策定
	10月		雨水で山林被害
昭和60年	1月	1985年	センター地区開発に着手
	4月		村長選挙で山田健一氏無投票で4選
	11月		村多目的集会所施設が完成
			真野ダム、RCO工法で本体工事に着手
			「いいたてミートバンク」設立
			第1回牛肉宅配を760人に行う
			真野ダム完成式を挙行政
			大火山牧場フェスティバル開催
			真野ダム建設に伴う県道草野・大倉・鹿島線の付替工事が完了
			第1回村民総合文化祭開催



第1回牛肉宅配



村民体育大会



昭和65年の豪雪



飯種小学校旧校舎

昭和61年～平成8年 1986年～1996年

昭和61年	1月	1986年	第1回新春村民の集い開催
	2月		産業おこしフォーラムで村の地域づくりの現状を報告
	3月		銀座三笠会館で「飯種牛パーティー」開催、新宿でも街頭キャンペーン実施
	4月		国際森林年の一環として「国際森林年記念植樹祭」
	5月		村公民館前庭に植樹
			大雷神社例祭
昭和62年	1月	1987年	ふるさとの物産とつまいものまつりに出店
	12月		新春村民の集い「初夢拾つ会」（通称、ホラ吹き大会）を実施
昭和63年	3月	1988年	畜産振興に際して自治大臣表彰を受ける
	4月		アジアボランティアの受け入れを行なう
	10月		草野・飯種両中学校を統合し飯種中学校となる
			財団法人飯種村振興公社を設立
平成元年	8月	1989年	村長選挙で斉藤長見氏が初当選
	12月		13号台風による集中豪雨で被害甚大、被害額20億7,560万円
			第1回若妻の翼事業を実施
			振興公社が第1回ふるさと産業おこし功労賞を受賞
平成2年	1月	1990年	村民企画会議がふるさと創生資金について答申
	4月		やまびこ運動事業に着手
	10月		飯種村快速道路つくり条例を制定
平成3年	3月	1991年	国勢調査で村の人口が8,000人を割る
			センター地区に総合カラウンドが完成
			母子センター助産部門を開所
平成4年	9月	1992年	役場新庁舎建設に着手
	10月		村長選挙で斉藤長見氏が無投票で再選
	11月		センター地区に野球場が完成
平成5年	6月	1993年	市町村対抗福島県縦断伝走大会（ふくしま駅伝）で村の部優勝
	7月		1993年
	10月		いいたてミートプラザがオープン
	11月		ステーキハウスいいたてがオープン
平成6年	1月	1994年	戦後最大規模の冷害に見舞われる
	7月		第1回あふくまストーンコンベンション実施
	11月		ふくしま駅伝で村の部2年連続優勝
平成7年	2月	1995年	ほんの森いいたてがオープン
	4月		畜産技術センターがオープン
	7月		飯種中卓球部女子が県大会優勝
	9月		敬老会招待者が1,000人に
	10月		ふくしま国体の炬火が村を通過
	11月		ふくしま駅伝で村の部4年連続優勝
平成8年	1月	1996年	東京原宿にアンテナショップを出店
	3月		23年ぶりに冬の成人式を挙行政
	7月		JA飯種村がJAそままと合併
	9月		農委選挙（無投票で初の女性委員誕生
	11月		村長選挙で菅野典雄氏が初当選
			村合併40周年を迎える
			ふくしま駅伝で村の部5年連続優勝、総合6位入賞
			「いいたて号」未来への旅」で小学生が村上空を飛行



ほんの森いいたて



いいたてミートプラザ



戦後最大規模の冷害



台風13号の被害



4代目村長 菅野典雄氏



飯種牛



5代目村長 菅野典雄氏



クリアセンター



ステーキハウスいいたて



真野ダム



若妻の翼事業

日本の希望に満ちた高度成長は、やがて低成長へ移行するための空前のバブル景気。そしてバブル経済崩壊後、日本再編の動きが。『平成の合併問題』に、村は平成16年の村長選によって、自立の道を選択した。世界の潮流「スロー」という考え方をより深めて、第五次総合計画「までいライフ」を村の理念にすえ、21世紀の在るべき姿を实践しはじめた。

平成9年～平成13年 1997年～2001年

平成9年

3月 1997年
村の農業構造改善事業に農林水産大臣表彰
「この賞」で29人が豪州へ
飯館中学校で男子の長髪解禁
白石地区でクマが交通事故
特老いたてホームが開所
杉岡茂さんが相馬民謡で日本一
ふくしま駅伝で村の部6年連続優勝、総合8位入賞



いいたてホーム落成式

平成10年

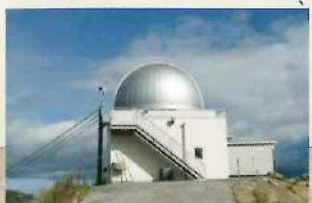
2月 1998年
飯館家畜市場で最後の子牛せり、37年間の歴史に幕
草野地区に街路灯103基が完成
第1回海洋アドベンチャースクール実施
第1回村まつり夏の陣を開催
「24時間リレーマノン」も実施
村消防団草野機動部が県消防操法競技大会で3位
草野地区の農業集落排水処理場が完成
ふくしま駅伝で村の部7年連続優勝



子牛せりに群

平成11年

3月 1999年
愛澤基良さんが全国高校重量挙げ競技選抜大会で
56キロ級優勝
「村への通信簿」村民1,000人が村政を評価
総合評価は5段階中「3」
村内で携帯電話のサービス開始
大雨で大きな被害が発生、総雨量は314ミリ
渾下浄水場が稼動
前田地区に東北大学の大型望遠鏡が完成
センター地区で県相双地方総合防災訓練、
村民2,000人が参加
ふくしま駅伝で村の部8年連続優勝



東北大学の大型望遠鏡

平成12年

2月 2000年
第28回家畜人工授精優良技術発表全国大会で、
振興公社の今村幸三さんに最優秀賞の西川賞
山田豊君(福島商業高校)が村で初の甲子園出場
村民の森あいの沢に「あいの浮橋」が完成
学社連携事業として、飯館流し盆踊り大会に
小学生の創作盆踊りが初参加
かみのやま競馬場外発売所ニートラック
いいたてがオープン
村長選挙で菅野典雄氏が無投票で再選
村内の花井が販売総額1億円を突破
ふくしま駅伝で村の部9年連続優勝、
総合成績は過去最高の5位



あいの浮橋

平成13年

1月 2001年
第1回こども議会を開催
やまゆり保育所がオープン
いい暮らし運動がスタート
ハンガリー少年少女合唱団の飯館公演
第1回いいたて村民ふれ愛写を実施
第1回全国障害者スポーツ大会卓球競技で
佐藤公実香さんが優勝
ふくしま駅伝で村の部10連覇を達成
いいたてホームが県建築文化賞を受賞



ニートラックいいたてがオープン

平成14年～平成18年 2002年～2006年

平成14年

1月 2002年
やすらぎ新装オープン
活性化センターいちばん館が完成
学書保育つくしんぼハウスがオープン
「あいの句碑」完成を祝い、読者の森まどかさんを
招いて園遊会を開催
小学生が親元を離れて合宿通学
村消防団第1分団機動部が県消防操法競技大会で3位
若妻の翼パートIIで15人が欧州へ
振興公社出品の飯館牛が全国共進会で優等賞



「あいの句碑」除幕式

平成15年

3月 2003年
介護予防拠点施設ひだまりの家完成
きこりの別館と「ネー」が完成
異常低温・日照不足で農作物が冷害、村冷害対策本部を設置
村商工会が「緑のふるさと商品券」発行
自衛隊福島駐屯地音楽隊演奏会を開催
飯館池製作所にふるさと企業大賞(総務大臣賞)
ふくしま駅伝で2年ぶりに村の部優勝
タレントの高木美保さんと佐藤典雄氏を招き
「までいな暮らしを共に考える集い」開催
合併問題で真実討議。鹿島町・原町市との
合併の賛否を問う住民投票を実施



飯館小学校



「までいな暮らしを共に考える集い」

平成16年

3月 2004年
新しいアイデアがたくさん詰まった
飯館小学校南校舎が完成
笠石団地が優良団地として、県公共住宅促進協議会表彰
村第五次総合振興計画を策定、キャッチフレーズは
「大いなる田舎 までいライフいいたて」
高池スエさんが村で初めて満100歳を迎える
村長選挙で菅野典雄氏が3選



住民投票の開票作業

平成17年

3月 2005年
県内初のどぶろく特区が認定
村消防団に年頭褒の全国表彰
きこりに「いいたてイオンの森 あいらび湯」がオープン
飯館小学校が公立学校優良施設として
(社)文教施設協会会長賞を受賞
村学校給食センターに(財)県学校給食会から
学校給食優良団体表彰
定数を4人減の14人に改正して初の議会選挙
過疎地域自立活性化優良事例表彰で村が総務大臣賞を受賞
芦原地区の「石ボロ坂トンネル」が開通
ふくしま駅伝で村の部3年連続優勝



「イオラ」



ふくしま駅伝で村の部3年連続優勝

平成18年

1月 2006年
笠石団地が県建築文化賞特別部門賞を受賞
村独自の子育て支援事業
「いいたてまでい子育てクーポン」を交付
村を応援する組織
「いいたてまでいユニット」が設立
立村50周年を迎える



「いいたてまでいユニット」



笠石団地



石ボロ坂トンネル開通

立村50周年記念祭

笑顔×50人



飯館村と大館村が昭和31年9月30日に合併し、
飯館村が誕生してから50年目を迎えましたが、
この間、村が歩んできた道は
とても険しいものでした。

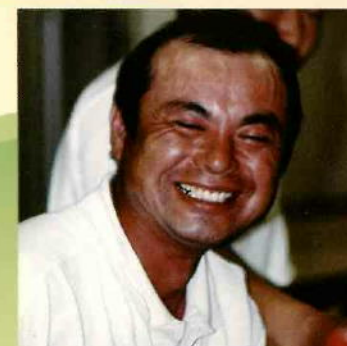
合併後もしばらくは
旧村の紛争が続いたり、
台風や冷害をはじめ多くの災害にも
見舞われました。

村を愛する人々の懸命な努力によって
多くの問題を乗り越え、

互いに協力し合うことで、
やがて村が一つにまとまり、
ここまで発展してきました。

みんなの笑顔の裏には、
たくさん流した涙や汗、
そして努力があるのです。

笑顔の裏に汗と涙、そして努力



笑顔を大きなエネルギーに

飯館村には四季折々の豊かな自然があり

この自然や山並みが

美しい農村景観を生み出しています。

さらに、古くから受け継がれてきた

伝統芸能や郷土料理・生活文化は

今もなお大切に守られています。

これらの自然や文化を次の世代へ
しっかりと引き継いでいくことが
今の時代を生きる私たちの役目です。

この地に住む人たちの

元気と笑顔を大きなエネルギーに

これから飯館村は歩んでいきます。

笑顔×50人

「明日に誓う」

私には夢がある

いつの日か

一人前の大人に成長し

未来へ向けて歩き出す

夢に心を込めれば

不可能なことなんてない

今こそ帆を上げ 出航するとき

いかなる荒波も乗り越えて行こう

その夢は近づき 眩しい光で輝きはじめる

だから僕等は歩きはじめる

だから僕等は歩き続ける

輝かしい未来のために

輝かしい未来へ向かって

（「飯舘村立村50周年記念祭」での
中学生メッセージ）

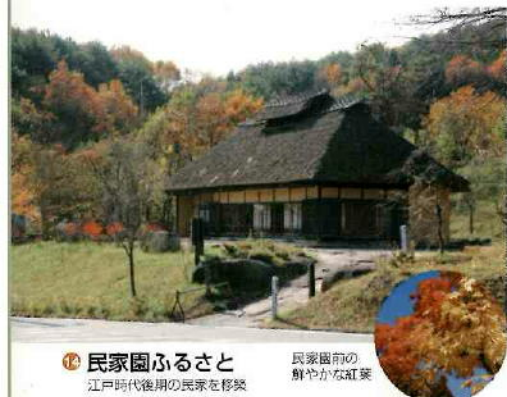




愛の俳句事業
愛にちなんだ「あいの沢」の整備と御影石などの地産地消の一つとして、平成13年から行われた、早の地域づくりサポーター事業と原子力等立地地域振興支援事業の補助を受けて取り組んできた。愛をテーマとする俳句を広く公募、俳人の集まるところが毎年50句を選び、5年で250基が完成。

2 平成13年度句碑
3 平成14年度句碑
4 平成15年度句碑
5 平成16年度句碑
6 平成17年度句碑
7 坂東三津五郎句碑
「白葉の 椿いっばいに 母の日々」
8 増田明美句碑
「歳月を 共に味わう 土熟蒸し」
9 わたせせいぞう句碑
「香水の 記憶に 鶴き 君の紙」
10 会ひたくて 逢ひたくて 踏む 薄氷

11 愛の俳句事業
12 会ひたくて 逢ひたくて 踏む 薄氷



14 民家園ふるさと
江戸時代後期の民家を移築
民家園前の
鮮やかな紅葉



15 宿泊体験館さくら



16 水車小屋



17 木道



18 木道から見た浮橋



19 遊歩道の景色

「ふくしまの遊歩道 50選」

20 冬のあいの沢



21 キャンプ場
オートキャンプ場も整備されている。

飯舘村

50景

村民の森 あいの沢



飯舘村のほぼ中央に位置する自然公園「あいの沢」は村民の憩いの場。御影石に刻まれた愛の句碑の小道を散策すれば、ほっと温かい気持ちに...『ふくしまの遊歩道50選』『ふくしま緑の100景』にも選定された美しい木道 優しくゆれる浮橋 美しい見どころがいっぱい。



私たちが愛してやまない
いいたて村
View Point

史跡・文化財



●宮内の宝財踊り

19 福島県指定重要無形文化財 飯館の田植踊 (村内の13保存会)

田植えの無事を、収穫の喜びを身体いっぱい表現する伝承芸能。飯館にはそれらを大切に守り抜く人々がいます。天を仰ぎ、大地を踏み、思いのたけを踊ります。



●飯館町の田植え踊り

●小宮の田植え踊り



飯館村50景 史跡・文化財



1 大石木の橋
村指定文化財天然記念物



2 田神社の神木
村指定文化財天然記念物



3 常念寺のいちじく
村指定文化財天然記念物



4 外内のたねまき桜
村指定文化財天然記念物



5 白山神社のもみ
村指定文化財天然記念物



6 白山神社のけやき
村指定文化財天然記念物



7 蔵平の栗
村指定文化財天然記念物



8 比曾の水芭蕉
村指定文化財天然記念物



9 二枚橋の水芭蕉
村指定文化財天然記念物



10 比曾の三匹獅子舞
村指定文化財無形民俗文化財

飯館村には太古の昔から伝わる文化財が今も静かに時を見つめつづけて…



11 山水画・相馬祥鳳筆
村指定文化財美術工芸品



12 釈迦如来立像
村指定文化財美術工芸品



太古の昔からこの地に発達した文化を伝える貴重な文化財たち。時間と先人の英知をうかがい知ることができます。目を閉じると、真摯ないのりが聞こえてきそう…



13 比曾の十三仏
村指定文化財史跡



14 大倉の葉山ごもり
村指定文化財無形民俗文化財



15 六字名号供養碑
村指定文化財史跡



16 作見の井戸

自然

飯館村の景勝地は、不思議といつ来ても優しい風景が楽しめる。
四季ごとの衣替えに美しさを、自然を愛でる。

飯館村 50景



45 長泥の桜 つづれ折りの道に沿って咲くさまは見事。



42 大雷神社の桜

桜開花は平地より遅く、
ひと足遅れの花見が楽しめる



44 虎捕山
盗賊黒虎を神のおかげから捕らえた故事にちなんだ山の名。阿武隈山系を一望できる。



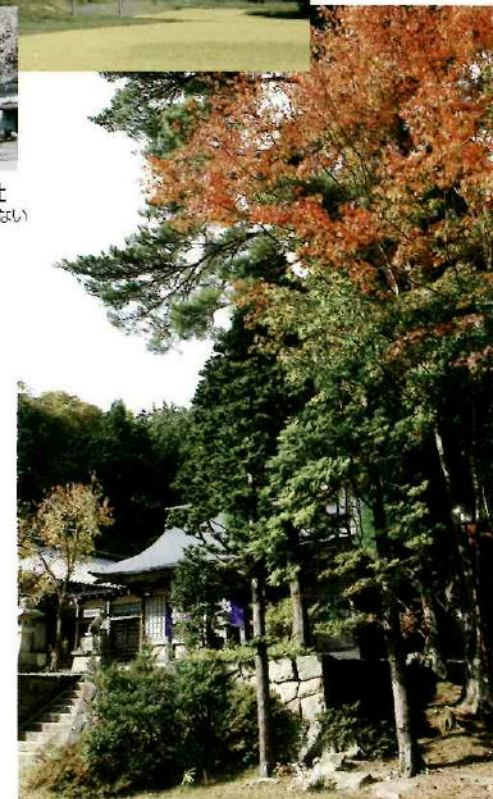
43 山津見神社
参拝客が絶えない信仰の社。



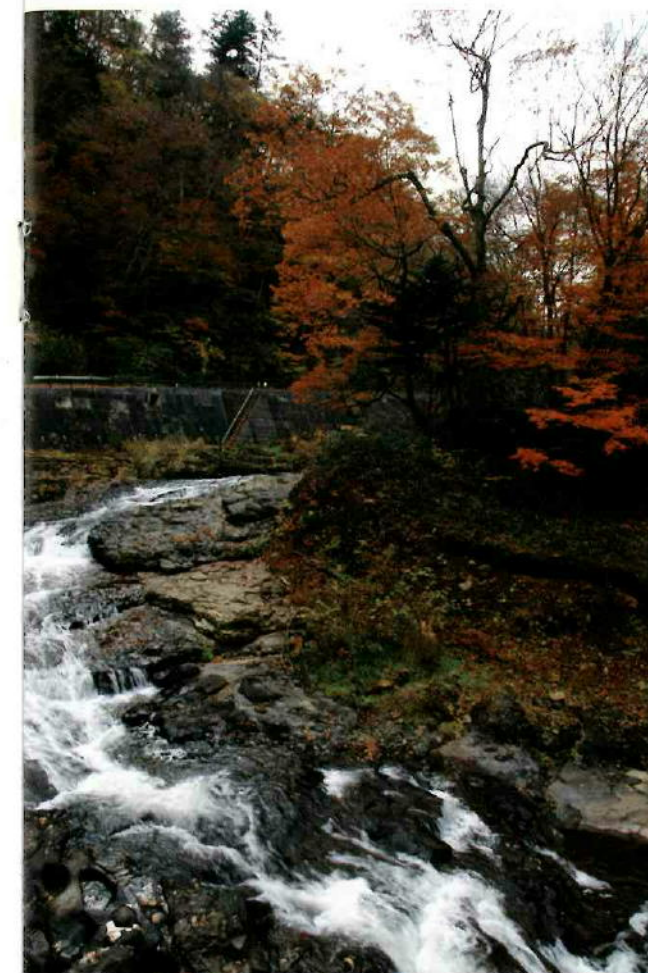
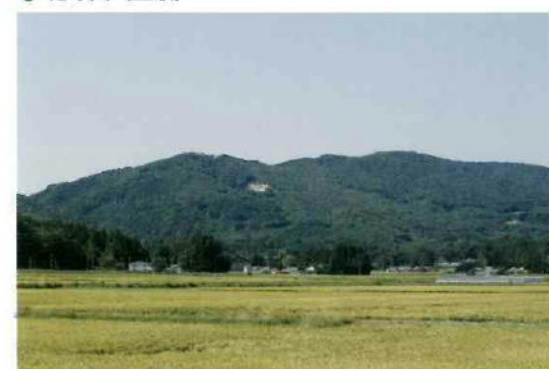
46 岩部ダム



50 花塚山から見た飯櫃地区



48 花塚山 (全景)



49 真野川渓谷
ドライブコースとしても観光客が絶えない。



47 花塚山の巨石群



季節の移ろい、木々のグラデーション

48 ほんでんの滝



49 新田川渓谷
岩肌に木々が美しい、川沿いの散策に心がのびのび。



47 真野ダム (はやま湖)
県営多目的ダム

水の美しさ、水の流れの美しさ、
心が洗われるスポット



49 野手上山の紅葉
全山燃え立つような深い彩り。

48 野手上山の全景 美しい稜線が特徴。



野手上山サワグルミの森



「第5次総合振興計画」

実施期間 平成17年度(2005年度)～平成26年度(2014年度)の10年間

“までい”は

宣言1 人と地域のつながりを“までい”に

私たちは、自分たちの暮らしをより“までい”にすることによって、ふだんの暮らしと飯館村に流れる時間・人・もののつながりをしっかりと守り育て、それを村の誇り・財産とします。



宣言2 からだと大地を“までい”に

私たちは、村民一人ひとりの心と体の健康、暮らしとともにある田畑や豊かな自然環境を、生態系の中で守り育て、村民のからだと大地の健康を保つ循環型の仕組みをつくっていきます。



宣言3 家族の絆を“までい”に

私たちは、家族の幸せを第一に考えます。家族の「助け合い、補い合い」の関係に加えて、夫婦・親子が「活かし合い、高め合う」ことのできる家庭づくりに努めます。



宣言4 「食」と「農」を“までい”に

私たちは、ふだんの生活の中で、より農的な暮らしを実践し、「食」や「農」、あるいは「農的文化」と積極的に関わりを持ち、持続力のある地域づくりを進めていきます。



宣言5 人づくりを“までい”に

私たちは、お互いに尊敬し合える心、支え合う優しい心、たくましい創造力、好奇心旺盛でチャレンジ精神に富んだ人間を、家族や地域ぐるみで見守りながら育て、また自分自身も地域の中で成長していきます。



施策の概要

飯館流スローライフ

までいライフ Maday Life

未来のことば



私たちは経済優先・効率優先の社会が必ずしも人々の幸せを約束するものではないことに気づきました。このような速い社会（ファースト・ライフ）への反省として、「スローライフ」という言葉が新しい暮らし方を示唆する言葉として様々なところで唱えられています。しかし、この「スローライフ」って一体何なのでしょう。

ある村民がこう言いました。

「スローライフって“までい”に暮らしていくごどなんだべ」

“までい”というこの言葉は、私たちに古くからなじんできた言葉です。私たちは、親や年寄りから「食物はまでいに（大切に）食べよ」「子どもはまでいに（丁寧に）育てろよ」「仕事はまでいに（しっかりした・丁寧に）しろよ」と教えられてきました。

「心をこめて」「手間ひまを惜しまず」「丁寧に」「時間をかけて」「つつましく」

そんな心が“までい”には込められているのです。スローライフを私たちの言葉で表すとき、そこに込められた意味や心情までも分かりやすく表せるのが“までい”ではないでしょうか。



私たちのふるさと飯館村が本来持っている歴史や風土を今一度見直し、人間本来の楽しい「暮らしぶり」や「生きざま」をつくりあげようという、飯館流スローライフ。それが「までいライフ」です

家族・夫婦・地域

女性が羽ばたく村でなくっちゃね



今日までいっしょだね

「10年後のあなたへ」

50周年記念事業

平成18年

10年後に配達される手紙セット
& 50周年記念切手

大好きなあなたに、大切な家族に、オリジナルのレターセットであなたの思いを。配達される10年後にあちこちの家庭で心温まり、目がうるむ一瞬がきっと。

家族のふれあいテーマに

家族映画祭

家族のふれあいの機会として、村の「秋まつり」にあわせて実施。家族のあり方などを考えさせられる映画を数本上映。

わが家のニュース、タイムカプセルに

わが家のニュース

タイムカプセルに

飯館村 村民から募集

家族だんらん演出

家族だんらん演出

家族だんらん演出

家族だんらん演出

家族だんらん演出

家族だんらん演出

家族だんらん演出

家族だんらん演出

家族だんらん演出

家族だんらん演出

わが家の10大ニュース

家庭の団らんを深めてもらおうと平成11年から実施している。それぞれの家庭で1年間に起こった出来事を10項目村へ送ってもらう。村が保管し、将来各家庭へ届ける。

天翔ける若妻の翼



若妻の翼事業 平成元年～平成5年

村の若妻を対象とした海外研修事業「若妻の翼」が平成元年から5年まで実施されました。

参加によって得た様々な感動等を綴った独自の本を発行したグループをはじめ、従来にはなかった女性活動が盛んになり、地域活性化と男女共同参画社会づくりの推進となっている。



▲第1回目の参加者の紀行文が「本」に！

輝かしい 駅伝の記録

平成4年～

平成4年から連続優勝を重ね、平成13年に10連覇を果たしました。その後も平成15年から17年まで3年連続優勝。

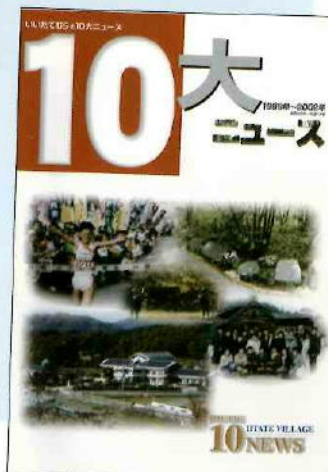


ふくしま駅伝・村の部 1位

いいたてをたすきでつなぎ、ゴール！

村の10大ニュース
村の貴重な歴史書

昭和63年から毎年実施。村民の投票により、その年の10大ニュースを決定し、新年の「新春村民の集い」で発表。



子どもが真ん中 飯館村の学校に対する考え方 教育

子どもたちの自主性や表現力を伸ばすため
教師と児童のふれあいを深めるため
これまでの学校には見られない
空間をつくりました。

「いたてっ子は
「タッパ」はめる、シッパ」しめる」



- 1 子どもにやさしさ、あたたかさ、ふるさと(愛郷心)の心を
- 2 子どもにとって楽しい居場所づくり
- 3 子どもの成長に見合った教室づくり
- 4 子どもと、教師のふれあいが深められる学校づくり
- 5 地域の教育力を育て、地域活力の拠点施設



飯館小学校 公立学校優良施設として
(社)文教施設協会会長賞を受賞
(平成16年竣工)

村営の本屋さん
ほんの森



みんなで
見守り
立ち見OK!

村民が気軽に立ち寄れる新しい交流の場、ふれあいの場、くつろぎの場として設けられた。



海洋アドベンチャースクール

子どもたちが海上生活や北海道での交流活動を通して、人を思いやる心や感謝する心を育むことを目的に毎年実施しています。



身にしみて分かる親のありがたみ
8泊9日の耐久レース

合宿通学

食事はもちろん掃除、洗濯まで全て自分たちで行います。4～6年生対象に「やすらぎ」で実施されます。



村と親の
共同企画

地域の産業は人の力
人と人との輪が繋がって

地域産業



いいたての 花卉・野菜 美しい色が自慢です

高冷地の条件を生かした花卉・野菜などの
振興に力を入れ、冷害などに強く危険分散
も兼ねた複合経営を推進しています。



特産品



愛のうわづみ
おこし酒の白酒です。



山中郷
飯館産のそばを仕込んだ焼酎。
そばの純度70%。
まろやかで飲み口がいい。

いいたての 畜産 ブランドを守り抜く



昭和59年、村商工会が村おこしの
シンボルとして「飯館牛」を取り上
げ、村・農協・商工会が一体となり
飯館牛のブランド化に取り組んできま
した。良質の食用牛生産のため平成
7年からは村独自で受精
卵移植事業にも取り組ん
でいます。その結果、
子牛市場価格にも好影
響を与えています。



飯館牛
阿武隈高原の自然の中
大切に育てられた味は格別。



トマトジュース
エネルギーがギュッと詰まった
飯館特産地産トマト使用。

自主・自立が産業力にも表れる

いいたての どぶろく 「特区」で実現した美酒

「佐須の蔵出しどぶちえ」自作の米と井戸水を使
い熟成させた逸品。構造改革特区により平成
17年に濁酒製造が認定され、濁酒特区の県第1号。
豊かな自然と人に触れ、
まていな時間を楽しむ
場農家レストランも推
進しています。



いいたての 観光農園 観光とは自然を映すこと

牧草地を利用したわらび園や農園はシー
ズンともなれば大変なにぎわいになる。



やまゆり保育所



ゆったりとした家庭的な雰囲気の中
過ごせる保育所。農作業は始め働
く母親の増加と共に要望の声があ
がり、子育て支援策として平成13
年に母子センターを改築して開所。
未来からの留学生に心のあり方を。
「やまゆり」は村の花。



子育てクーポン

全国でも珍しい村独自のクーポンを平成
18年に交付、第3子以降一人につき年
50,000円のクーポンが交付されます。
保育料や小中学校の諸会費、医療費、ほ
んの森での図書購入費、村主催事業など
の参加者負担金等に使えます。



保健福祉



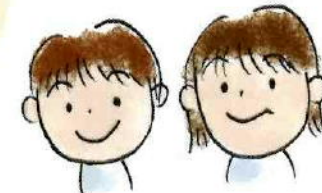
いいたて エンジェルプラン

少子高齢化や若者の減少は、村にとって深刻
な問題です。活気あふれる飯館村をつくら
いくために、エンゼルプランと男女共同参画
プランを結びつけた「いいたてエンジェル
プラン」。村民一人ひとりが実行し、元気な子
どもがいっぱいと妻にやさしい飯館村を。

父子手帳を交付しています！

「パパ宣言手帳」を交付すること
により、父と子の絆を深め父親の子育
て参加を推進します。

子育ては村全体で支援しています。



20行政区すべてに ミニデイサービス

お年寄りも大切にしなくちゃね

人生の先輩、おつかれさまでした。
これからはすこしは
お世話させていただきます。



寝たきりや痴呆を未然に防ぐため、
各行政区独自が実施する地域福祉活動。
ミニデイサービスをサロン化していく
ことによって、健康寿命を伸ばします。



皆としゃべると話も弾みます。
地域のコミュニティ健在。

「わたしたちは家族です」 いいたてホーム

ホームは「家庭」にこだわり、小規模生活単
位型の介護により、より家庭的な雰囲気
で介護に取り組んでいます。一人ひとりの生活リズ
ムに合わせ、それぞれの生きがいを出せるだ
け達成させ、楽しい生活をおくれる
よう心がけています。



競い合い、協調、そして協働へ...

村の中の20行政区。それぞれが
計画段階、実行中、さ

もの探し」へ。そうしたら、こんな宝ものが見えてきた。

独自のプラン創案で行動する村民パワー。
まざまな中身をのぞいてみれば...

輝く20行政区

佐須 佐須 こだわりの村

虎捕太鼓と農業祭でさらなるステップアップ!

前田 住む人と 星が輝く 清水の里

炭焼きやワラビ園で、多くの人とのふれあいをもちます。

白石 "すてきな田舎" ロマンのある白石

村内での立地を活かしてみんなが楽しめるイベントを。

二枚橋・須萱 源流・清流・食農を重んじる田舎暮らし20区

心を大事に交流を活性化します。

関根・松塚 心豊かに 明るい未来 ユートピア17

コミュニティ誌の保存版を作成。まとまりやすい地域です。

上飯樋 人を愛し 自然を愛し 地域を愛する 上飯樋

岩部ダムや花塚山を活用して活気あふれる地域へ。

大久保・外内 わらしから年寄りまで ふれあい息づく 元気な田舎 大久保・外内

お年寄り子どもみんなが楽しめる行事の強化作戦!

飯樋町 地域と人が輝く 融和の里 飯樋町

飯樋地区の中心。明るく賑わうマチへ。

前田・八和木 農と和と緑の郷 11区

自然がいっぱい、元気な人がいっぱい、笑顔もいっぱい。

比曽 明るく元気な未来 自然と人に優しい比曽から発信!!

比曽川はすばらしい水源。野菜がうまい、米がうまい。

長泥 人と自然とがふれあう花の里 長泥

健康食品として脚光を浴びているヤーコンの生産商品化で元気アップ。

地域づくり事業「やるきつながりプラン」

「ちいさくらしあっぷプラン」

これからの新しい村づくりは地域社会の基本単位である行政区で...

宮内 家族的で まとまりのある 心豊かな 八龍の里

もっと世代間の交流に取り組みます。

深谷 ふれあいと 活力あふれる やすらぎの里 ふかや

「文化」と「知恵」を大切にします。

伊丹沢 ゆったり あんしん 総合家族 いたみさわ

村の中心地 伊丹沢。地域の繋がりを広げる活動を。

草野 美しい川とゆとりとうるおいのライフゾーン くさの

炭焼き、わら細工を交流事業に。伝統芸能も継承します。

大倉 水と緑と出逢いの郷 大倉

人とのふれあいを大切に心豊かな地域を。

八木沢・芦原 あなたにもある わたしのふるさと 八木沢・芦原

隣から隣へ声のかけ合い、みんながつながりをもって。

小宮 小宮のめざす地域の

美しい地域の宝を守り、活かします。

蔵平 明日へ翔く蔵野の郷

大自然の中で健康な体づくり。

関沢 笑顔と心の豊かな人づくり「SEKISAWA」

パークゴルフやミニディで住民のふれあいと元気を。

村民一人ひとりが個性の輝きを

個の尊重

対

この村長

心おこして自立の村へ

職員への就任あいさつで、これからは「個の尊重を大切にすることが大事な時代」と言ったところ、コノソノチョウを「この村長を大切に」と間違われ、なんと生意気な村長が!! と後々の笑い話になったことがありました。

飯館村が誕生してから50年を迎えました。これからの飯館村の在るべき姿、めざす未来像など村長の菅野典雄が村民ひとり一人と誌上で

きらくに対談してみました。



●菅野村長
●村民(男性)
●村民(女性)

●菅野 こんにちは、菅野です。日頃はいろいろお世話になっております。今日は先日私が撮った写真をお届けがてら、日頃思っている事などお話をできたらと、よろしく願っています。

●いやあ、村長の写真にはまいったない、何時の間に撮られたんだか(笑)。私が知っている村民のかんりの人が村長撮影の写真を持ってるんじゃないかな。

●菅野 村民の笑顔を撮りたくて、車にはいつもカメラはつけてるんです。これまで600枚くらい撮ってますから、何かの機会に観てもらいたいものですね。

スローに対するブーイング

●ところで村長、この頃はかなり耳慣れた「まーでい」だけれど、最初聞いた時は心配したよ。なにしろ、村の第5次総合計画は「スローライフ」が基本理念と聞

いて、村が合併しない今こそ、産業振興に力を入れないとダメな時ではないかと。●菅野 その通りなんです。みなさんのブーイング(笑)はきちんと受け止めた。役場内や村民からは、「もう道路づくりはしないのか」とか、「この不況時代に村長は何を考えているのか」「頑張っている人に、頑張るなというのか」などなど。戦後50数年、一貫してスピードは善でスローは悪という概念で進んできた日本です。この価値基準は、都会に比べてかなりスロー的な概念で動いている飯館村においてさえ深く浸透していて、大多数の人が「スロー」という言葉にアレルギー反応を起こしたんですね。スローが正しくてスピードが間違いだと言っているわけではないのです。今まで悪だといわれて来たスロー的な考え方の中にも「素晴らしいもの」「正しいもの」「価値あるもの」「取り戻さなければならぬもの」があるのだというのが真意です。都会にはない飯館の良さを知り尽くしている村

民の方々でさえ50年以上にわたって進めてきた「スローは悪だ」という考えを払拭できないというのが現実の姿であつたわけですね。●「まーでい」と聞いて なーんだ、そうなんだよな、それで探し当てた言葉が「まーでい」だったんだ。そんなことだったのかと、一気に腑に落ちた(笑)。まーでいは方言で小さい頃からあちゃんに聞かされてきたからな。「まーでい」に「飯をくわねえと目つぶれつと、まーでい」子供を育てねーとあとで苦労すつと」てな具合に。



●菅野村長
●村民(男性)
●村民(女性)

●「まーでい」に仕事しないと何と荒ばしい嫁だこと」とは耳に痛い言葉です。でもそんなお年寄りの言葉の中味には日々の生活を見直したり、考え直したりで、生き方にまで繋がってきそうです。つまり、丁寧に、念入りに、大切に、



●菅野村長
●村民(男性)
●村民(女性)

共有語「まーでい」村の切り札

世界のまーでいが、



ないものねだりからあるもの探しへ

スピードを落とすとして見えるもの

●菅野 そうですね。その通りです。以前営んでいた酪農で、いつも一つの疑問が心の中にあつたんです。効率一辺倒・経済至上主義のみで何事も進めていっていいのだろうか。当時の酪農の常識は、改良や給仕改善など乳牛にあらゆる工夫をして一頭あたりの産乳量をいかに上げるかで、酪農全体が血眼になっていました。私はそのような流れに疑問をもち、出来るだけ自然の中で牛を飼ひ、やや少ない乳量でも多年飼養することでコストをおさえた経営をすべきではないかと考え実践してきました。

●菅野 日本は少しアクセルを踏みすぎたような気がします。走っている人は歩く、歩いている人は立ち止まる、立ち止まっている人はしゃがんでみる。そうすることによって足元の花の美しさが見えてくるのではないのでしょうか。きつと見えてくる風景が変わってくると思うのです。

家族はつくる時代

●以前に夫婦セミナーに参加させていただいたのですが、あの頃から家族の絆を意識するようになりました。照れずに向き合うことの大切さや会話の大切さを

知りました。友人は「若妻の翼」に参加したことによって家族の大切さをあらためて知ったといっていました。でも同時に大きな壁にも幾つかぶつかりました。「年寄りの介護は女がするもの」「嫁は家にいるものだ」などなど。私は飯館に嫁いで10年にもなるのに、まだ村民権を得てなくて、「ヨソモノ」と考えている人もいますから(笑)。

●菅野 村の歴史をつくってもらったお年寄りには感謝の気持ちでいっぱいですが少し考え方を変えてもらいたいところもあります。その辺のところは女性の活躍にも期待したいところです。おとうちゃんにも是非ガンバってもらいたい。

●菅野 日本は少しアクセルを踏みすぎたような気がします。走っている人は歩く、歩いている人は立ち止まる、立ち止まっている人はしゃがんでみる。そうすることによって足元の花の美しさが見えてくるのではないのでしょうか。きつと見えてくる風景が変わってくると思うのです。

●いやあ、ほんとだな、夫婦は助け合わないと...。夫婦は高め合つてこそ

●菅野 いやいや、助け合うだけではもう古い(笑)。21世紀は「生かし合い、高め合う夫婦」に変わっていかなければならないのです。「この人と一緒に暮らすことによって自分も大いに成長させられる」という関係ですね。妻に「メシ、フ口、ネル、ビールもつてこい」であつたり、妻が世間に目を向けることを嫌がるようでは、その妻から学ぶべきことは何もないでしょう。

笑い声がこだまする村に

●菅野 まあ、大人から子どもまでいろんな立場をこえて、笑い声がこだまするような村にしていきたいものですね。

●菅野 飯館村は「まーでいライフ」を根本の考え方で進めていきますが、まさか、これまで古くから使われてきた言葉が、これからの時代の大切な理念であり、こんなに効果を生むとは思えなかったことでした。自立していく訳ですから、今までのように「ないものねだり」の行政ではなく「あるもの探し」の村づくりをしていかなければなりません。身の丈に合った村づくりをしていくことが、効率一辺倒やスピーディの基準ではできない、人と人とのつながりを深めていくことでしよう。そして、思いやりの心づかいが満ちあふれる村にしていきたいものです。この進み方が飯館村にとっての生き残りの近道ではないかと思っています。

人が宝 村民の心が、村の顔です。

個の尊重 一人ひとりが主役



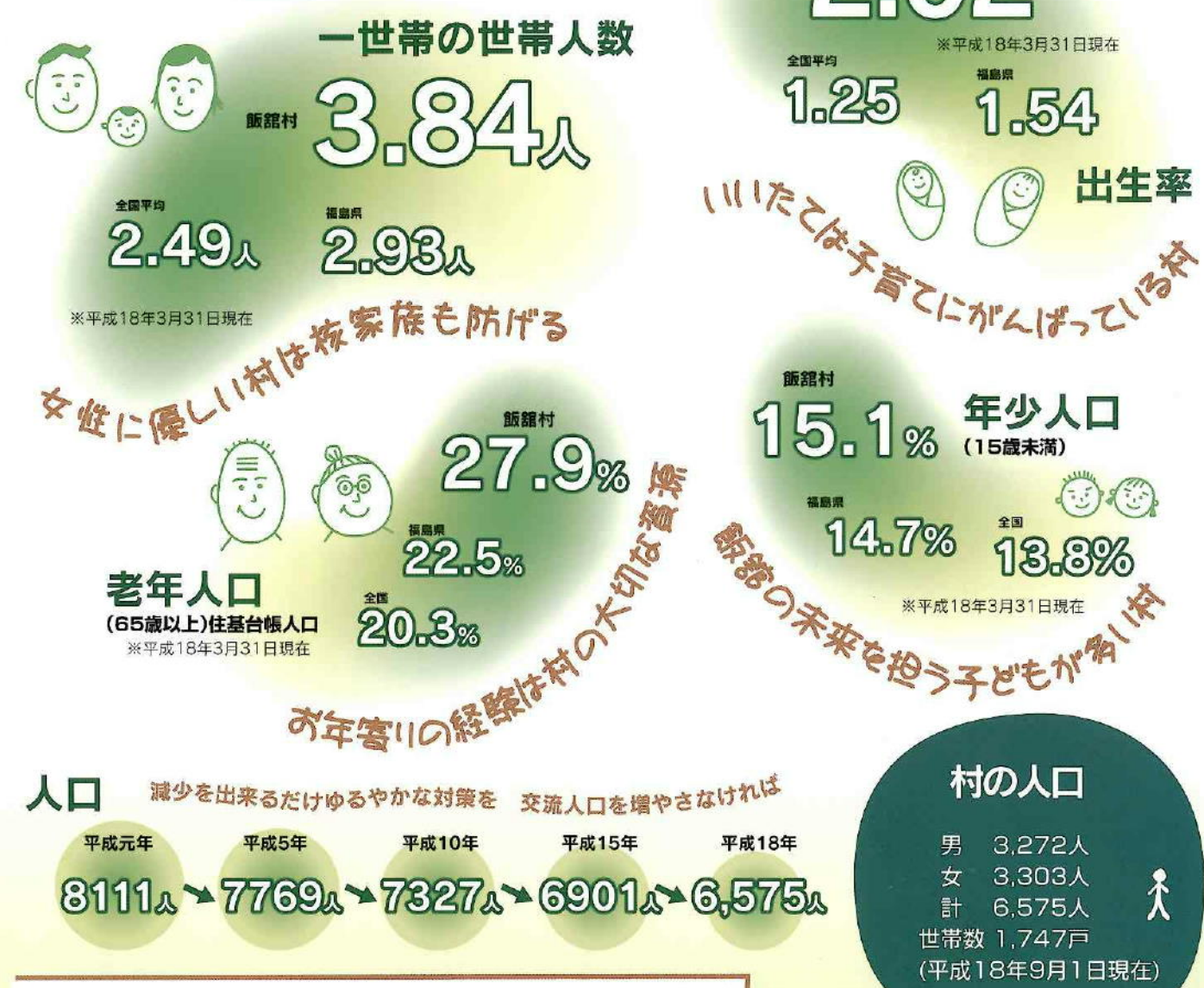
50年間の いいたてむらの10大ニュース!

立村50周年を記念して、この50年間の10大ニュースを決定する投票が行われました。
やっぱり1位は、村ができたこと。思えば50年前のこと。
生まれてきた人もまだ生まれない人も…
「飯館村」が「飯館村」のままでまた次の時代を創ります。

- 1 昭和31年9月
大館村と飯曾村が合併し、「飯館村」が誕生。…595票
- 2 昭和36年4月
草野地区で大火。120棟焼失、罹災人員244人。…546票
- 3 昭和63年4月
草野・飯樋両中学校が統合し、飯館中学校が開校。…348票
- 4 平成18年9月
飯館村が立村50周年を迎える。…344票
- 5 平成13年11月
第13回ふくしま駅伝で、飯館村チームが村の部10連覇を達成。…293票
- 6 昭和55年12月
豪雪で山林などに大被害、交通網も大混乱。被害は14億9,300万円。…289票
- 7 平成16年11月
合併から自立へ。合併協議がスタート、村長選挙を経て協議会から離脱。…281票
- 8 平成9年9月
特別養護老人ホーム「いいたてホーム」が開所。…234票
- 9 平成5年10月
戦後最大規模の冷害に見舞われる。被害総額は20億円以上。…222票
- 10 平成元年9月
第1回若妻の翼事業を実施。…219票
- 平成17年11月
芦原地区の「石ボロ坂トンネル」が待望の開通。…219票

12位～100位
(12) 昭和41年1月「学校給食センター」完成し、村内全校が完全給食に。(13) 平成3年6月総工費282億円と計画以来21年の歳月を要した「奥野ダム」が完成。(14) 平成6年1月センター地区に役場新庁舎が完成し、業務を開始。(15) 平成元年9月台風13号による集中豪雨で、20億7,560万円の被害。(16) 昭和55年12月飯館と長雨で農作物に15億2,400万円の被害。(17) 昭和60年4月「いいたてミートバンク」設立。第1回牛肉配達を760人に行なう。(18) 昭和45年2月農村集居市場が全村で開通。加入率82%。(19) 昭和46年5月村農業家畜市場が完成し、初セリが行われる。(20) 昭和49年7月「生活改善センター(現・飯館村公民館)」が完成。(21) 平成8年3月「A飯館村」がAさつま合併。(22) 平成7年2月村営の本屋さん「ほんのきいいたて」がオープン。(23) 昭和51年9月「合併20周年記念式典」を挙げる。村民憲章、村の木・花・鳥を制定。(24) 平成6年8月夏の異常洪水で水不足となり、2週間におよぶ給水制限。(25) 平成15年12月市町村合併協議で、飯館町・原町市との合併の意向を両市町村が表明。(26) 昭和54年5月村民の森「あいの沢」が開園。(27) 昭和37年3月飯館町地区に簡易水道が完成し、水道水の供給を開始。(28) 昭和41年7月集中豪雨で1人死亡、125戸浸水。被害総額は1,483万円。(29) 平成6年7月「高泊池緑地」がオープン。(30) 昭和62年1月新着村民のついでに「初夢拾う会(通称:水うき大会)」を実施。(31) 昭和41年3月大館・飯館両農協が合併し飯館農業協同組合が発足。(32) 昭和35年9月草野地区に役場新庁舎が完成し移転。飯館に支所を設置。(33) 昭和44年12月草野幼稚園が完成し、新しい園舎で幼児教育スタート。(34) 昭和38年11月総工費1億9,900万円をかけた「岩部ダム」が完成。(35) 昭和38年7月「広畑いいたて」第1号を発行。(36) 昭和46年8月台風23号で農作物や道路、家などに2億6,900万円の被害。(37) 昭和39年9月低湿長雨によって農作物に5,016万円の被害が発生。(38) 昭和38年8月全行政区分一になって「第2回村民体育大会」を開催。(39) 昭和41年9月「合併10周年記念式典」を挙げる。村章と村民歌を発表。(40) 昭和40年4月土地の完全な位置・面積を出す国土調査に着手。(41) 昭和51年11月異常洪水と長雨で、農作物に10億8,000万円の被害。(42) 昭和66年12月村内の電話がすべて一般電話に。(43) 平成10年2月村家畜市場が開所。37年の歴史に幕。(44) 昭和36年1月飯館町に「母子センター」を設置。(45) 平成2年4月ふるさと創生事業として、行政区独自の地域づくりを村が支援する「やまびこ運動」に着手。(46) 昭和52年9月飯館村総合計画(第2次)を策定。(47) 平成12年10月「ニュートラックいいたて」がオープン。(48) 昭和48年12月老人いこいの森「やすらぎ」がオープン。(49) 昭和60年8月「大火山牧場フェスティバル」を開催。(50) 昭和45年7月降ひょうで農作物に7,800万円の被害。(51) 昭和47年4月飯館地方広域消防団発足。飯館分署が活動開始。(52) 平成8年10月村民選挙で菅野典雄氏が初当選。(53) 昭和39年7月草野地区に簡易水道が完成し、水道水の供給を開始。(54) 昭和38年8月草野と飯館の2方に分かれ「第1回村民体育大会」開催。(55) 昭和31年10月初の村民選挙で高橋市平氏が当選。(56) 昭和42年11月飯館村農工会が発足。(57) 昭和34年3月赤十字救済のための「村自主再建計画」を策定。(58) 昭和61年3月東京銀座で「飯館牛パーティー」開催。新館でも街頭キャンペーンを実施。(59) 平成14年9月若妻の翼パート2実施。15人の女性が参加。(60) 昭和58年10月農業や商工業、文化祭などを統合し、「第1回村まつり」を開催。(61) 平成2年10月センター地区に総合グラウンドが完成。(62) 昭和41年4月飯館町を基盤とし飯館村へ通じる阿武隈越え道路が開通。(63) 昭和42年6月飯館村社会福祉協議会が発足。(64) 昭和32年7月「松ヶ平ダム反対期成同盟会」が発足。(65) 昭和32年9月22人の定数で初の村議会議員選挙を執行。(66) 昭和61年1月「第1回新着村民のついで」を開催。(67) 昭和63年10月16年振りの村民選挙で、菅野典雄氏が初当選。(68) 平成5年10月「ストーンコンベンション」開催。3人の彫刻家が公開製作。(69) 昭和34年5月「村建設基本計画」「新村建設計画」を策定。(70) 昭和58年10月村議会選挙で菅野典雄氏が初当選。(71) 昭和61年8月「第1回いいたて山がっこう」が開校し、村内と飯館の子どもたち39人が参加。(72) 平成4年10月センター地区に野球場が完成。(73) 平成7年11月「いいたてクリアセンター」が稼働開始。(74) 昭和33年9月松ヶ平ダム建設期に由来して反対派急増。(75) 昭和37年5月復興期の季節保存所を開通。(76) 昭和48年3月簡易水道浄水場が完成し、給水を開始。(77) 昭和57年4月飯館町に「保健センター」が完成し業務開始。支所も移転。(78) 昭和43年12月飯館公民館が完成。(79) 昭和52年4月簡易水道浄水場が完成し、給水を開始。(80) 昭和55年4月飯館農業青年研究同士の会が、農業者活動グループコンクールで総務大臣賞を受賞。(81) 昭和43年10月村民選挙で永永道氏が初当選。(82) 昭和47年10月村民選挙で山田健一氏が初当選。(83) 昭和50年1月「第1回国民体育祭」が開催され、10団体が参加。(84) 昭和50年4月大館・飯館両農協が一体化して飯館村農協となる。(85) 昭和53年9月農業構造改革事業で、前田と二枚橋・飯館地区のほ場整備118区に完工。(86) 昭和53年12月阿武隈越え道路(広域農業開発事業)に着手。(87) 平成10年11月草野地区に農業集落排水施設が完成。(88) 平成11年10月東北大学の大型望遠鏡が飯館地区に完成。(89) 平成16年6月村第5次総合振興計画「まてらライフ」を策定。(90) 昭和37年3月飯館村森林組合が発足。(91) 昭和58年5月村民の森あいの沢で、「田中友好の森記念植樹祭」を開催。(92) 平成17年11月自治体職員生活活性化優良事例表彰で総務大臣賞。全国初2度目の大臣表彰。(93) 平成6年3月村第4次総合振興計画「やさしさと活力あるクオリティライフ」を策定。(94) 昭和60年12月「第1回村民総合文化祭」を開催。(95) 平成3年3月母子センターの助産部門を開所。(96) 昭和59年3月村第3次総合振興計画「緑とふれあいの農村楽園」を策定。(97) 平成3年5月第1回阿武隈越え道路活性化優良事例として、国土庁長官賞を受賞。(98) 平成14年9月飯館村公民館が全国共進会で優等賞。(99) 平成4年5月飯館村消防団が優良消防団として民友賞を受賞。(100) 昭和46年7月議会・村・地元代表で「奥野ダム対策協議会」が発足。

数字に見る いいたて



わたしたちは、美しく豊かな阿武隈の山なみと
人情にはぐくまれ、限りなく躍進する飯館村民です。
わたしたちは、この誇りと自覚をもって、
わたしたちと子孫のために、
楽しく働き 明るく より豊かな
より住みよい 村づくりをめざし、
この村民憲章を定めます。

1.よく話し合い 善意の輪をひろげましょう。
1.きまりを守り 伝統の美を築きましょう。
1.創意をこらし 協力の実を結びましょう。
1.環境を整え 健康の喜びを深めましょう。
1.教育を重んじ 若人の夢を育てましょう。
(昭和51年9月制定)

村民憲章

飯館村は、阿武隈山系北部の高原に開けた
豊かな自然に恵まれた美しい村です。
総面積230.13Km²の約75%を山林が占め
地形は比較的なだらかで、北に奥野川、
中央に新田川と飯館川、南部に比叡川が流れ
その流域に耕地が開かれ集落を形成しています。
年平均気温は約10℃、年間降水量1,300mm前後で
高原地帯独特の冷涼な気候にあります。

村の鳥 うぐいす
村の花 やまゆり
村の木 あかまつ

までいとは？

まで く真手>

左右そろった手。両手。

までい く真手>

までに同じで方言。念入りなさま。

まじめ。つつましいさま。

(資料出所:小学館 日本国語大辞典)



飯舘流スローライフ

までいライフ

福島県飯舘村
立村50周年記念要覧